

# 地域支援交付金について

## 一般質問



中右 憲利 議員  
(21 政会)

**問** 平成 26 年度分で地域支援交付金、つまり現政権の目玉政策である地方創生に係る交付金が 1 億 2,500 万円入っている。その狙いと使い方について。

**答** 狙いは地方の消費喚起及び構造的な課題への取り組みであり、地域消費喚起生活支援型で 7,300 万円、地方創生先行型で 5,200 万円が交付されています。

前者は個人への直接給付事業、後者は地方版総合戦略に盛り込まれる事業、仕事支援、創業支援、販路開拓、少子化対策等の事業が対象です。

**問** 地域消費喚起生活支援型は、現在実施中のこども医療費助成及び共通商品券事業補助金に使用することだが、今回商品券のプレミアムを 5%から 20%に大幅アップするのはなぜか。

**答** 県下ほとんどの自治体がプレミアムを 20%にするなか、商工会議所等と協議し 20%のプレミアム商品券を 2 億円分発行することを決めたとのことです。

**問** 地方創生先行型交付金について、地域版総合戦略策定業務及び地方人口ビジョン策定業務（予算 400 万円）とあるが、その内容について。

**答** 国は総合戦略の基本目標を①地方の安定雇用創出②地方への新しい人の流れの創造③若い世代への結婚・子育て支援④時

代に合った地域の創造及び地域間連携としています。

地方人口ビジョンは、効果的な施策を進める基礎資料として、自治体の人口及び将来展望を明確にし、今後目指す方向を明示するとされています。

**問** 国は自治体の総合戦略等を査定し地方創生交付金を出すのか。

**答** 国は「地方が自ら考え、責任を持って戦略を推進すること」に対して、平成 28 年度より新たな交付金の本格実施を予定しているとのこと。

### ■その他の質問事項

- ・市内基幹道路の整備について
- ・今後の加西市の農政について
- ・観光政策について

# 北条中学校の自転車通学について

## 一般質問



織部 徹 議員  
(21 政会)

**問** 9月議会でも質問したが、その後の進捗状況及び今後のスケジュールについて。

**答** 北条中学校では PTA 常任委員会において検討が進められており、登下校の状況や各町の意見・要望等を集約し、また「自転車通学で気をつけたこと、マナー、安全面で気づいたこと」などを生徒へアンケート調査し、対策を検討しているところです。

2月 17、18 日には、全校生を

対象とした自転車通学の試行を実施し、現在は結果をまとめ、危険箇所の再確認と対策を検討し、実現に向けて進めているところです。また、試行の際には校区の方に安全への配慮をお願いし、加えて PTA の方に通学が集中する道路・交差点の見守りをご協力いただくなど、安全への配慮を行いました。

今後は、運動場南側出入り口への自転車通行用スロープ設置工事（3月中）、小谷交差点における信号待ち待機スペース確保工事（4月以降）、西門から南方向道路側溝に蓋をする拡幅工事、中学校前交差点への待機スペース確保、アクアスカさい東側堤防のり面下の簡易舗装による通学路の確保を順次行います。

主な自転車通学路は、北条方面

4本、富田方面3本ですが、生徒が集中することによる危険の回避と、交通量の多い三木中央線を安全に横断できるよう、PTA 会長・校長をはじめ校区の代表区長様方より、宮前歩道橋のある交差点に信号及び横断歩道の設置が要望されています。

安全指導については、4月に新入生とともに自転車点検を行い、PTA 総会における保護者説明、立ち当番の検討を予定しています。4、5月に再度試行を行い、7月に加西警察による交通安全教室、そして、夏休みから部活動・登校日に自転車通学を実施し、本格的実施については9月になると考えております。

### ■その他の質問項目

- ・シカ対策について